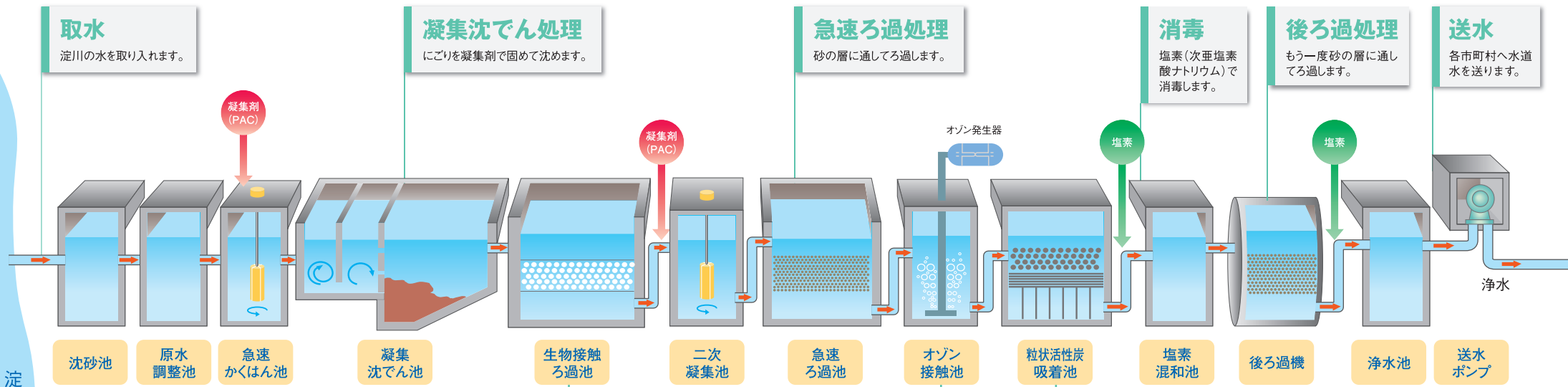


水をつくる ～浄水処理～

大阪広域水道企業団では、通常の浄水処理に加え、オゾン処理や粒状活性炭処理等の高度浄水処理を行っています。これにより、安全・安心でよりおいしく飲める水道水を府域に供給しています。

浄水処理フロー

庭窪浄水場の例



生物処理

繊維担体に付着している微生物の浄化作用を利用したもので、池の中に繊維担体を敷き詰め(充填厚さ2m)、沈でん処理水が繊維担体層を通る間に、水中のアンモニア態窒素やマンガ、濁質分を除去します。



繊維担体(材料:ポリエステル、形状:5mmから7mmの球状)

オゾン処理

オゾンは、その強い酸化力により、かび臭などの有機物を酸化・分解します。さらに、塩素消毒に強い耐塩素性病原生物であるクリプトスポリジウムに対しても効果があり、従来の処理よりも安全性が高められます。



オゾン発生器



オゾン接触池

粒状活性炭処理

粒状活性炭は、1mm程度の大きさですが、その表面には目に見えない小さな穴が無数にあっています。このため、その表面積は1gあたり1,000㎡にもなります。水の中に溶け込んでいる農薬、臭いやトリハロメタンの原因となる有機物は、この穴に取り込まれ除去されます。



粒状活性炭